LiPro評価基準（中学生向けの通信教育）｜2025年2月調査

LiProでは中学生向けの通信教育のランキング作成において、評価基準を作成いたしました。

当サイトは広告収入を元に運営されています。ユーザーの皆様に公正、かつ、正確な情報をお届けするために、広告にあたる商品・サービスには「PR」や「スポンサードリンク」などの記載をすることを遵守しています。「選び方」で紹介している情報は、必ずしも個々の商品の安全性・有効性を示しているわけではありません。商品を選ぶときの参考情報としてご利用ください。

調査概要

調査方法	調査した中学生向けの通信教育を確認
調査実施期間	2025年2月18日～2月19日

1. 評価基準の設定の流れ

評価基準の設定の流れは以下の通りです。

1. 各中学生向けの通信教育の公式サイトを確認
2. 評価基準の項目について調査
3. 評価基準をもとに評価をする

1-1. 各中学生向けの通信教育の公式サイトを確認

調査する中学生向けの通信教育の公式サイトにて、サービスの内容等を確認しました。

1-2. 評価基準の項目について調査

評価基準（「月額料金」「カリキュラム」「対応科目」「サポート内容（子供向け）」「サポート内容（保護者向け）」）の5項目に関して、中学生向けの通信教育の公式サイトの情報を調査しました。

1-3. 評価基準をもとに評価をする

調査した情報を確認して、評価基準をもとに評価をしました。

2. 評価基準

評価基準(「月額料金」「カリキュラム」「対応科目」「サポート内容(子供向け)」「サポート内容(保護者向け)」)の5項目において、1～5までの評価基準を設定いたしました。

項目	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5
月額料金	10,000円以上	10,000円以内	8,000円以内	5,000円以内	3,000円以内
カリキュラム	基礎的な学習も慎重で、カリキュラムが全体的に偏りや不足している。	基礎的な学習はある程度できるが、応用的な内容が不足している。	学校のカリキュラムにはある程度対応しているが、一部で不足している分野がある。基礎的な学習はしっかりとできるが、応用力を伸ばすカリキュラムが不足している。	基礎から応用への段階的な学習設計がされているが、一部科目の内容にバラツキがある。繰り返し学習や復習の機能はあり、さらに工夫ができる部分が見られる。	学校の教科書や定期テスト、受験に対応したカリキュラムが充実しており、基礎から応用まで段階的にわかりやすい設計になっている。繰り返し学習や復習ができるシステムも整備されており、深い学習効果が得られる。
対応科目	主要科目がほとんどなく、内容が非常に薄い。選択科目や特別プログラムがなく、生徒の興味や発展的な学習がほとんど行われていない。	主要科目のいくつかがカバーされていない、または内容が不足している。選択科目や特別プログラムがほとんどなく、学習の幅が限られています。	主要科目は揃っているが、内容がやや限定的で、応用部分や発展的な学習が少ない。選択科目や特別プログラムは少ないが、基本的な学習内容は揃っている。	主要科目を十分にカバーしており、学校や試験の範囲に合ったカリキュラムが提供されている。選択科目や特別プログラムも提供されているが、少しバリエーションに欠ける。	主要科目(国語、数学、英語、理科、社会)を完全に網羅し、学年に応じた内容が提供されている。選択科目や特別プログラム(プログラミング、キャリア教育など)が豊富に用意され

					ており、興味を広げられる。
サポート内容（子供向け）	質問対応がほとんど行われず、子供が困ったときに自分で解決しなければならない。 個別指導や進捗確認が一切なく、子供に合わせた学習サポートが提供されていない。	質問対応が遅く、子供が学習の途中で必要になった場合、十分なサポートが得られないことが多い。 個別指導や進捗確認があまりなく、基本的なカリキュラムに沿って学ぶだけで、個別のサポートが少ない。	質問対応はある程度適切だが、特に最初はなく、子供がすぐに疑問を解消できない場合がある。 個別指導や進捗確認はあるが、形式的な部分が多く、個別の学習状況に十分対応できていない。	質問対応は基本的に迅速ですが、一部の対応には時間がかかる。個別指導や進捗確認はあるものの、頻度や深さにムラがある。	質問対応が迅速かつ丁寧で、メールやチャット、電話など多彩な手段で、子供が分からないことをすぐに解消できる。 定期的な個別面談や進捗確認がある。
サポート内容（保護者向け）	保護者との連携不足に等しく、家庭でのサポートに関するアドバイスはない。	保護者との連携が不足しており、定期的な報告やアドバイスもほとんどない。	保護者との連携は基本的にあるが、サポートがやや形式的で、具体的なアドバイスが少ない。	保護者向けの情報提供もあるが、もう少し詳細な報告が欲しい部分がある。	保護者に定期的な進捗報告や、家庭でのサポート方法のアドバイスが提供される。

2-1. 月額料金

中学生向けの通信教育ごとに月額料金を5段階で評価しました。

2-2. カリキュラム

中学生向けの通信教育によってさまざまなカリキュラムが用意されています。学校の教科書や定期テスト、受験に対応したカリキュラムが充実しているかどうか、基礎から応用まで段階的にわかりやすい設計になっているかどうかを評価の基準としました。

2-3. 対応科目

中学生向けの通信教育によって、受講できる科目が異なります。主要科目（国語、数学、英語、理科、社会）を完全に網羅し、学年に応じた内容が提供されているかどうか、選択科目や特別プ

ログラム（プログラミング、キャリア教育など）が豊富に用意されており、興味を広げられるかどうかを評価の基準としました。

2-4. サポート内容（子供向け）

中学生向けの通信教育によって、子供が受けられるサポート内容が異なります。質問対応が迅速かつ丁寧で、メールやチャット、電話など多彩な手段で、子供が分からないことをすぐに解消できるかどうか、定期的な個別面談や進捗確認があるかどうかを評価の基準としました。

2-5.サポート内容（保護者向け）

中学生向けの通信教育によって、保護者が受けられるサポート内容が異なります。保護者に定期的な進捗報告や、家庭でのサポート方法のアドバイスが提供されるかどうかを評価の基準としました。

3. 調査した中学生向けの通信教育

今回調査したのは下記の中学生向けの通信教育です。

中学生向けの通信教育	公式サイト
進研ゼミ中学講座	公式サイト
スマイルゼミ	公式サイト
Z会の通信教育	公式サイト
東進オンライン学校 中学部	公式サイト
すらら	公式サイト
中学ポピー	公式サイト
スタディサプリ	公式サイト
デキタス	公式サイト
天神	公式サイト
サブスタ	公式サイト